

# 和風の離れを全面改装 梁のあるナチュラルLDK



①

低い天井で圧迫感のあった居間と和室を繋げ、  
梁を魅せた勾配天井で、開放的なLDKに



②

対面キッチン壁には、マガジンラックと  
ティッシュ置き場に便利なニッチを造作



③

パイン無垢フローリングに合わせ既設リビングドアはホワイトに塗装



④

採光採風を考えた西窓と棚



⑤

庭を眺められるPCカウンター



⑥

カフェ風キッチン背面収納



⑦

アンティークな洗面カウンター



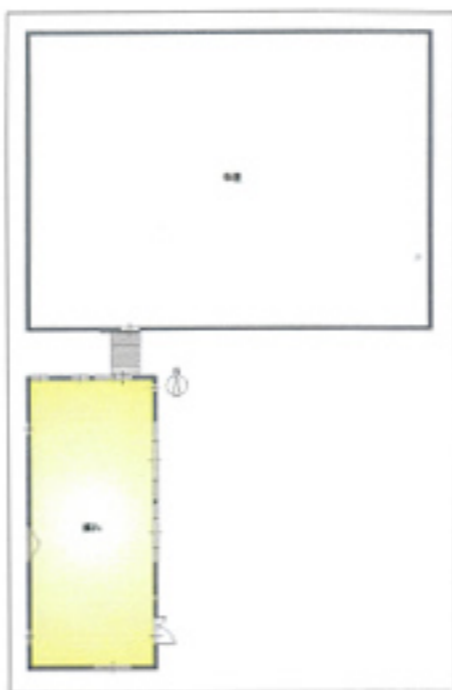
⑧

羽目板クロスでナチュラルなトイレ

## 平面図



## 配置図



## DATA

- |                |                |
|----------------|----------------|
| ■所在地:愛知県稲沢市    | ■築年数:30年       |
| ■建て方:一戸建て      | ■工事費用:670万     |
| ■構造:在来木造       | ■工事期間:60日      |
| ■階数:平屋         | ■工事完成年月:H28年8月 |
| ■延床面積:69.5㎡    | ■家族構成:3名       |
| ■リフォーム面積:67.9㎡ | ■年齢:30代夫婦,子供1人 |

## BEFORE

- A: 以前のこげ茶のドアはパイン床材に合わないのので白に塗装  
 B: 窓のない暗い和室 C: ミニキッチンがあったところに、洗面カウンターを造作



以前のリビングドアはこげ茶色

天井が低い以前の和室

以前のミニキッチンが洗面に

## ■ご要望と提案

### <お悩みその①>

お子さんの誕生をきっかけに、賃貸からご主人様のご実家の離れへと移りすむ事を決めたY様。その築30年の離れは、以前ご両親が生活をされていて、今は荷物でいっぱいの物置部屋のようになっていた。古めかしい間取りもインテリアも、これから育児をしていく30代のY様夫妻の意にそぐわないものだった。

### <お悩みその②>

天井が低く、暗い。夏熱く、冬寒く、風通しが悪い。  
 →天井は勾配天井にして高く。西窓を設け、パイン材の床と白い扉で明るく。  
 →東の大きな掃出しサッシには内窓を設置し、冬の寒さを軽減。  
 →西側に窓が一つも無かったため、キッチン背面とリビングに小窓を設置し通風。

### <お悩みその③>

素材でナチュラルなインテリアがお好きだというY様ご夫妻。築30年の趣ある梁が見えつつも、無垢のパイン材フローリングと、ホワイトオークを基調とした扉や、至るところに設置した木製の飾り棚、キッチンの背面をブルーのアクセントにした事で、伝統的な和の雰囲気は消え、カフェのようなナチュラルなLDKに。

## ■リフォームテーマ

『和風の離れを全面改装 梁のあるナチュラルLDK』

## ■特に工夫したポイント

### ①梁を見せた広々LDK

以前は天井の低かった和室と洋室の2部屋を繋げ、梁を見せた勾配天井にすることで天井の高い開放的なLDKに。扉も圧迫感のないホワイトを基調とし、パインの無垢フローリングとコーディネート。更に広く感じられます。  
 (写真①③参照)

### ②西窓とシンメトリー収納

LDKになる西側には窓がひとつもなく、東側の掃出しに風を通すため、小窓を設置する事に。但し、西日が差し込むと夏は暑いのと、隠す収納と見せる収納の両方を希望され、全てをバランス良くレイアウト出来るようにご提案。構造上撤去出来なかった柱と筋交いが、収納の側面になるように配置し、シンメトリーのリビング収納を設けました。その間をオープン棚、上部に内倒し窓を設置。全体のバランスも良く、明るさと風を通し、夏の傾斜角度の高い西日は極力遮れる、高めの横長窓です。  
 (写真④参照)

### ③オリジナル洗面カウンター

当初は、正面の既設窓を避け、トイレ側壁面に既製品のW750洗面化粧台を設置する案もありましたが、幅の広いカウンターを望まれ、窓面にW1200で造作。ミラーこそ側面壁に設置となってしまいましたが、既設窓枠のこげ茶色を活かして、アンティークなボウルと水栓金具で個性的な洗面カウンターになりました。  
 (写真⑦参照)